げっかん ほんはともだち



2026ねん6がつごう（no. 284）＊＊やすとしょかん＊＊

ほんかん	10:00～18:00（火ようび～日ようび）	でんわ　077-586-0218 ファクス　077-587-5976
ちゅうずぶんかん	10:00～17:15（火ようび～日ようび）	でんわ・ファクス　077-589-3382
ホームページ	https://www.iw.licsre-saas.jp/yasu/	

こどもむけイベントのおしらせ

★おはなしの森

6月14日,21日,28日（日）

場所：おはなしコーナー　10時30分～

絵本やかみしばいをよみます（3歳～）

★ちっちゃなおはなしの森

6月11日（木）　11時～

場所：おはなしコーナー　（0～3歳向け）

★ずくぼんじょ“おはなし”のおはなし会

6月13日（土）　2時30分～

場所：おはなしコーナー

（4・5歳から大人まで）

ストーリーテリングによる楽しいおはなし会です

★ちっちゃなおはなしの森 in 中主

6月25日（木）　11時～

場所：中主分館　（0～3歳向け）

6月のとしょかんカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7 やすまる広場 おはなし会	8	9	10	11 ちっちゃな おはなしの森	12	13 ずくぼんじょ
14 おはなしの森	15	16	17	18	19	20
21 おはなしの森	22	23	24	25 ちっちゃなおはなしの森ｉｎ中主	26	27
28 おはなしの森	29	30	※■の日はとしょかんはお休みです			

★★やすまる広場スペシャルおはなし会★★

6月7日（日曜日）①10時30分～

②2時～　　場所：閲覧室

トッポンチーノさん

といっしょにします♪

あたらしくはいったほん

『10ぴきのおばけとおきゃくさま』

にしかわおさむ/作・絵

（ひかりのくに）　E/ｼｯ



おじいさんとこいぬとすんでいる10ぴきのおばけたち。あるひ、いつものようにおさんぽをすることに。するとひとのすんでいなかったいえから、きいたことのないようなきれいなねいろがきこえてきて…。

※シリーズあります♪

『赤白帽のなぞ』

七江亜紀/著　佐々木一澄/絵

（東京書店）　K757

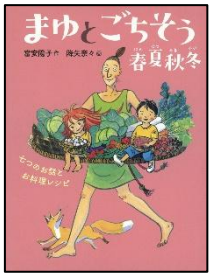


「色鉛筆に選ばれる12色って？」や、「色から温度を感じるってどういうこと？」などなど。いつも見てるのに気づいていなかった“色のなぞ”を、さがしてみよう！

『まゆとごちそう春夏秋冬』

富安陽子/作　降矢奈々/画

（福音館書店）　K913/ﾄﾐ



北のおやまのてっぺんの、三本杉の木の下にすむ、山姥母さんとその娘まゆの、おいしいごちそうのお話。お話に出てくる、11の料理レシピものっています。

※まゆがでてくるお話は他にもたくさんあります♪

『給食のおばちゃん一食べるのは苦手』

山口恵以子/作　彩田花道/絵

（理論社）　K913/ﾔﾏ



日本じゅうの小学校においしい給食を届ける、《給食のおばちゃん》こと管理栄養士の昼間明子。今日も「給食」をとおして、いろいろな子どもたちとむきあっていきます。

★ほかにもあるよ！「あたらしくはいったほん」のたなをみてみてね。よやくもできます

たよりになるね～「おいしゃさん」

『いしゃがよい』
さくらせかい/さく（福音館書店）E/イシ

あるひ、やまでないているパンダをみつけたエンさん。パンダにファンファンとなづけてそだてるのですが、ファンファンはからだがよわく、いしゃがよいすることになります。



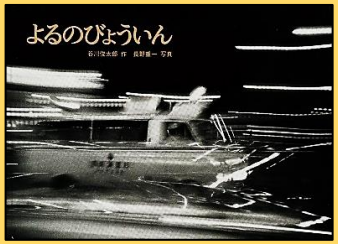
『珍獣ドクターのドタバタ診察日記』
田向健一/著（ポプラ社）K649

どんな動物でもみる努力をしようと決めて、犬、ねこはもちろん、カエルやアリクイ、トナカイなど、今まで治療した動物は百種類以上。いつのころからか「珍獣ドクター」とよばれるようになった動物のお医者さんのあわただしい毎日をつづる。



『よるのびょういん』
谷川俊太郎/作 長野重一/写真（福音館書店）E/ヨル

よる、ねつがでたゆたかは、きゅうきゅうしゃでびょういんへはこばれ、きんきゅうしゅじゅつをすることに！ よるのびょういんのようすをえがいたしゃしんえほん。



『はたらく動物病院』
吉田亮人/写真 矢萩多聞/文（創元社）K649

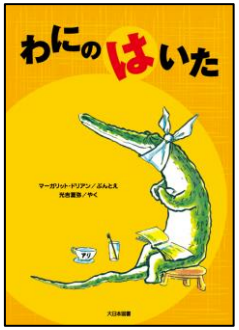
☆「写真絵本はたらく」シリーズ☆

夫婦ふたりできりもりする上京どうぶつ病院。８時に診察がはじまると、病院の中は動物の患者さんでにぎやかになって…。小さな動物病院の1日を写真で紹介します。



『わにのはいた』
マーガリット・ドリアン/ぶんとえ 光吉夏弥/やく
（大日本図書）K933/トリ

どうぶつえんのわにのアリは、はがいたくて、ねむれないほどです。でもアリは、はいしゃさんがこわくて、いきたくありません。えんちょうさんは、アリをはいしゃさんにいかせることにしますが…。



『きょうりゅうレントゲンびょういん』
キョン ヘウォン/ぶん・え こまつようこ/やく
眞鍋真/監修（パイインターナショナル）E/キヨ

ここは、きょうりゅうのためのびょういん。なやみをかかえたきょうりゅうたちがやってきて、レントゲンをとると、ほねがうつって…。きょうりゅうたちのからだのつくりをたのしくかいせつします。



『オバケだって、カゼをひく！』
富安陽子/作 小松良佳/絵（ポプラ社）K913/トミ

☆「内科・オバケ科ホオズキ医院」シリーズ☆

もしあの日、百狐堀に魚とりにでかけなければ、ぼくはあのふしぎな路地にまよいこむこともなかっただろう。路地の奥の病院でぼくが出あったのは、世界にたったひとりのオバケ科の名医鬼灯京十郎先生だった。



『白衣をぬいだドクター花戸』
國森康弘/写真・文（農山漁村文化協会）K490

☆いのちつぐ「みとりびと」シリーズ☆

おとしよりが多く住んでいる滋賀県永源寺地域で、毎日のように訪問診療をしている花戸貴司医師。人びとが安心して、自分らしく暮らしていけるように、在宅医療でまちを支える日々を写真で描く。

